

# 電波有効利用委員会（第12回）ご説明資料

---

UQコミュニケーションズ株式会社

KDDI株式会社

2026年3月31日

# UQの設立経緯

UQは設立当時「**固定のADSLの速度をワイヤレス環境かつ低価格で実現するモバイルデータ専門の企業**」として立ち上がり、2008年8月に第一号基地局を設置、2009年2月より始動した試験サービスを経て、**2009年7月1日にモバイルWiMAX商用サービスをスタート**しました。



年月	取組内容
2007年8月	ワイヤレスブロードバンド企画設立
2007年12月	特定基地局開設計画認定
2008年3月	社名をUQコミュニケーションズに変更
2008年8月	第一号基地局開局（横浜市）
2009年2月	UQ WiMAXサービススタート（試験サービス）
2009年7月	商用サービス開始

2009年のサービス開始当時、携帯電話は「音声通話」が中心であり、データ通信は、低速で利用可能なものが主流（電子メールやiモード・ezweb等）でした。

パソコンでの外出先でのインターネット利用といった、高速データ通信のニーズにお応えするため、モバイルWiMAX(BWA)の高速データ通信を提供しました。

## 2009年当時



### 3G携帯電話（ガラケー）

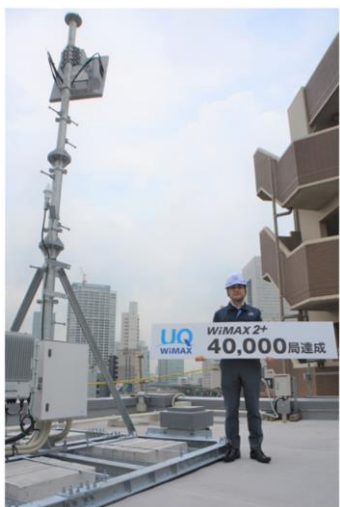
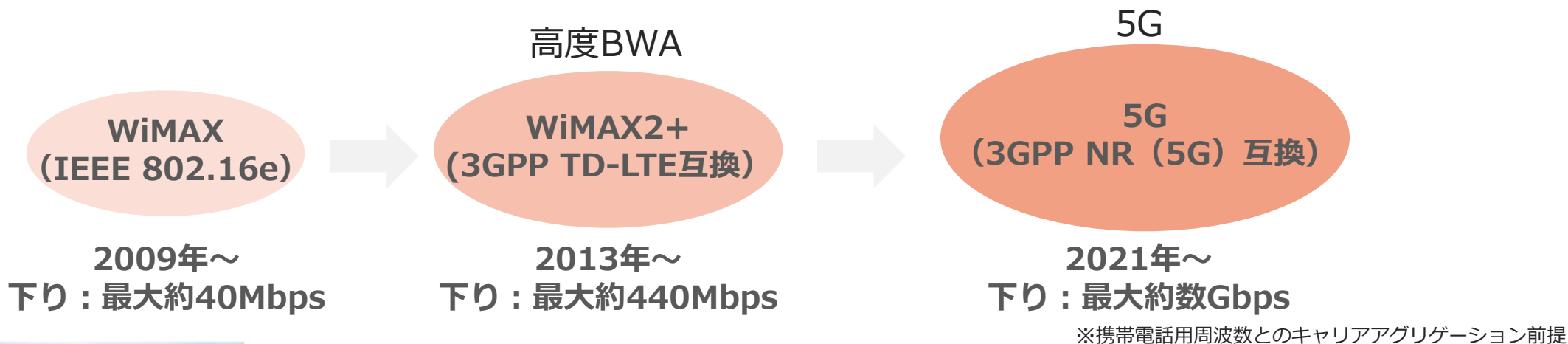
音声通話や  
低速データ通信(iモード、ezwebなど)が主流  
(最大7.2~14Mbps)



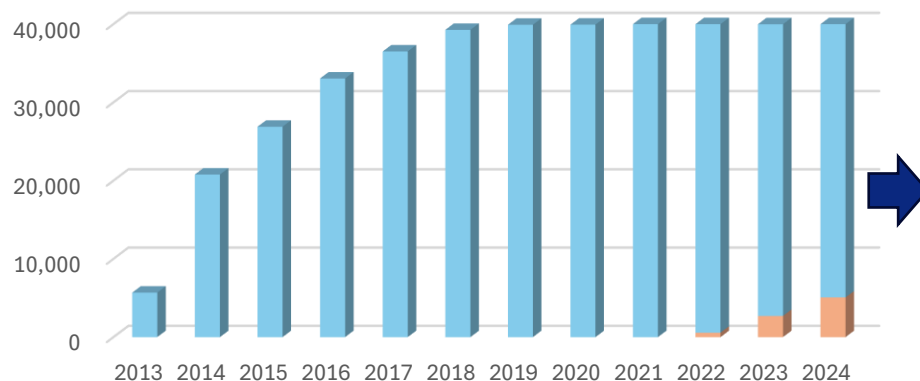
### WiMAXモバイルルータ

データ通信に特化（最大40Mbps）

基地局観点では、高度化BWAシステム「WiMAX2+」を2013年に導入し、2020年には基地局数(全国)が40,000局を達成。その後、5Gシステムを約5,000局導入しています。



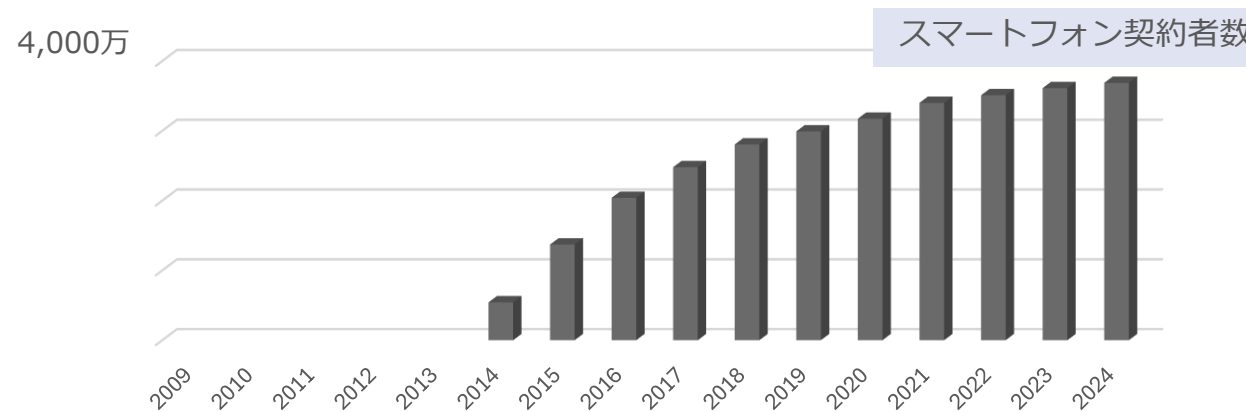
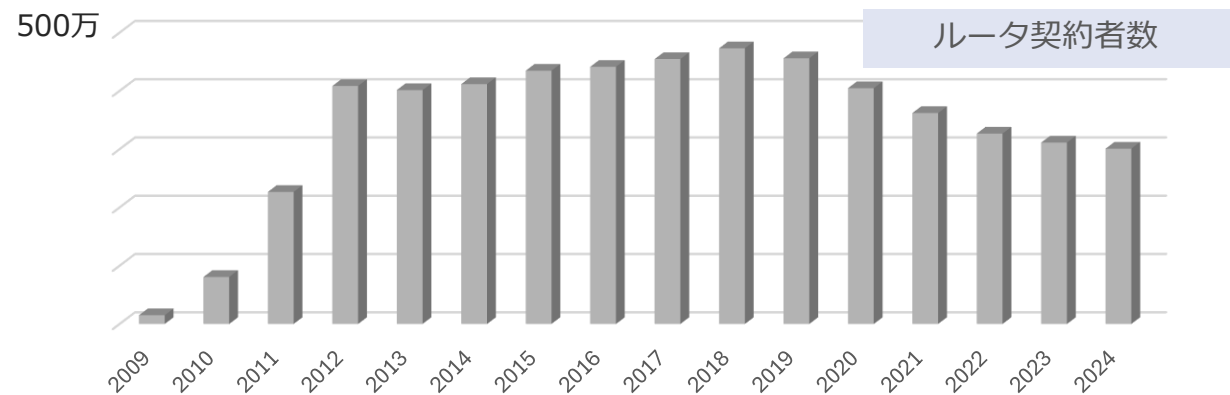
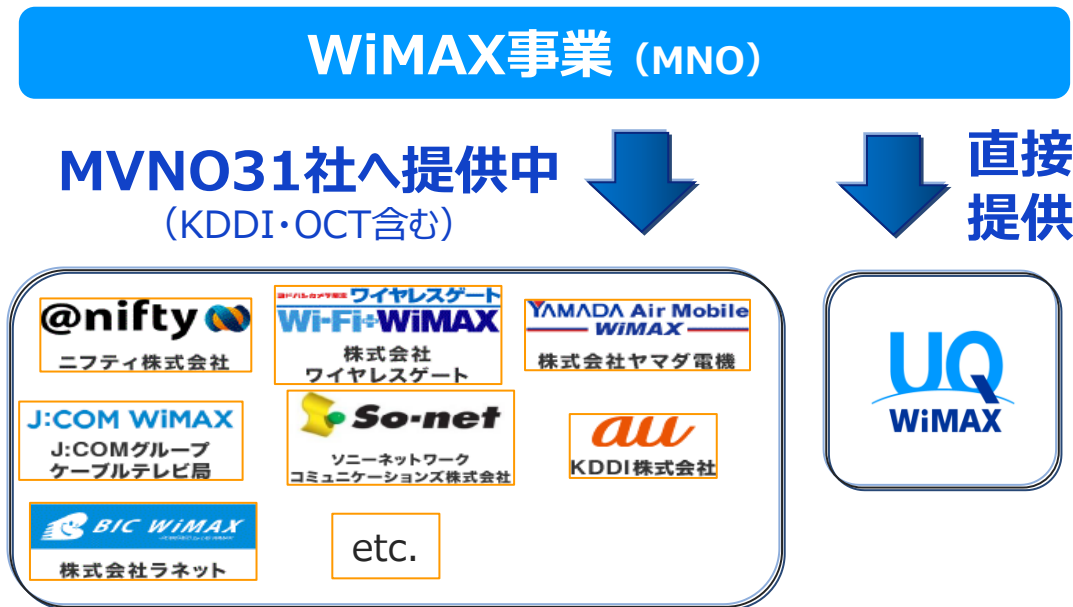
【基地局数の推移】



2025年3月末	基地局数
WiMAX (高度BWA)	40,037局
うち 5G	5,070局

※WiMAX 2+ : モバイルWiMAXの国際規格であるWiMAX 2.1をベースに、TD-LTEとの互換性を持たせた(プラスした)ことが由来

WiMAXルータをUQのご契約者へのご提供に加えて、MVNOのみなさまにもご提供しております。また、2014年よりauスマートフォン向けにもネットワークを提供しており、現在、約4000万のお客さまにご利用いただいています。今後も、BWA事業の継続は社会的要請であると考えます。



BWA事業者としては、今後、**5G化の推進**でさらなる周波数の有効利用を図りたいと考えております。また、出資関係の社会的な流れとして、**持ち合い解消**のリスク（事業継続に対する懸念）があり、これにより減資等を行うと、5G推進の投資がさらに困難となります。これらの観点を踏まえ、資本戦略の柔軟性を高めるべく、**資本規制の見直し**を求めるものです。

## BWA帯域の5G化の推進

2025年3月末	基地局数
WiMAX（高度BWA）	40,037局
うち 5G	5,070局

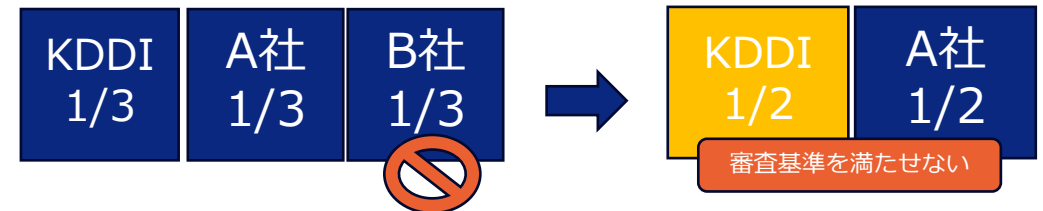


さらなる周波数の有効利用には、5G化に向けた設備投資を進める必要あり  
(資本戦略の柔軟化が課題)

## 出資関係に関する社会的な流れ

2015年導入、2021年改訂：東京証券取引所（東証）「コーポレートガバナンス・コード」【原則1-4. 政策保有株式】  
上場会社が政策保有株式として上場株式を保有する場合には、政策保有株式の縮減に関する方針・考え方など、政策保有に関する方針を開示すべきである。  
また、毎年、取締役会で、個別の政策保有株式について、保有目的が適切か、保有に伴う便益やリスクが資本コストに見合っているか等を具体的に精査し、保有の適否を検証するとともに、そうした検証の内容について開示すべきである。  
上場会社は、政策保有株式に係る議決権の行使について、適切な対応を確保するための具体的な基準を策定・開示し、その基準に沿った対応を行うべきである。

### 出資者をご理解頂けないケース（例）



※審査基準：全国BWA事業者に対する携帯電話事業者による出資（議決権）を1/3未満に制限すること

「つなぐチカラ」を進化させ、  
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

# KDDI VISION 2030

